

プラスチックごみ「ゼロ」へ

第4回

ヨシストローで 脱プラカフェ

高校生が作ったストローを通じてプラスチック問題を考えるカフェ

令和8年

7/12 (日) 11:00~14:00

県庁32階

NETSUGEN セミナースペース

手作り体験会

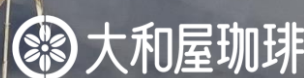
- ・ヨシから作るヨシストロー
- ・ヨシから作るヨシキーホルダー
- ・ヨシから作るヨシブレスレット
- ・コーヒー豆のかすを使った消臭剤

ヨシストロー・海洋プラスチックの資料展示

イベント限定メニューの販売



群馬県立大泉高等学校



ESTD. 1980

茂林寺沼湿原 (館林市)

県立大泉高校のヨシストロー研究の経緯

茂林寺沼湿原における保全活動（平成30年～）

県立大泉高校植物バイオ研究部は、平成30年に館林市教育委員会から茂林寺沼湿原の保全活動に関する共同研究の依頼を受け、現在まで活動を継続しています。

茂林寺沼湿原は、館林市にある茂林寺の北東に広がる湿原で、貴重な生物種が残る低地湿原です。しかし、近年、外来植物の侵入や湿原の乾燥化等がカキツバタをはじめとする湿原植物の生育に大きな影響を与えており、研究部では、①カキツバタの増殖研究、②外来植物に関する研究、③湿原の保全を呼びかける活動、④ヨシの活用に関する活動を行ってきました。

ヨシストロープロジェクトがスタート （令和4年6月2日）

茂林寺沼湿原の保全活動では、湿原保全のため定期的に行われるヨシ刈りで発生するヨシの活用が課題になっていました。そのような中、令和4年2月に関東学園大学主催の地方創生フォーラムに参加した大泉高校の生徒が、同大学のSDGsプロジェクトが進めている「草ストロー（ベトナム製）」の普及活動報告を聞いたことをきっかけに、同大学との共同研究による本プロジェクトがスタートしました。



ヨシストロー完成（令和5年2月27日）

半年以上に及ぶ試作期間を経てヨシストローが完成し、館林市役所での活動報告会で完成品がお披露目されました。ストローは約900本製作。

イベント限定メニュー 燕子花(かきつばた) ソーダ



7月12日(日)は希望の方に「ヨシストロー」を配布します。
※数量限定



大泉高校の生徒さんから“カキツバタ”をイメージしたドリンクというアイデアをいただきました。茂林寺沼を象徴する花“カキツバタ”の青紫と、茂林寺沼の水辺をイメージしたグラデーションが美しい炭酸ドリンクです。ブルーキュラソーとレモンが入った、夏らしい爽やかな味わいです。

カップは、環境に配慮した再生プラスチック配合のものを使用しています。

YAMATOYA COFFEE 32

【問い合わせ先】 群馬県廃棄物・リサイクル課 リサイクル係
電話：027-226-2824 FAX：027-223-7292
E-mail：haikirisaka@pref.gunma.lg.jp